

我が学びや

令和7年 10月 1日
白川小 学校便り No.4

文責:校長 村上剛史

学校教育目標: 自他を大切にし、学び合いを楽しみ、高め合う子どもの育成

重点取組: ①人が元気になる言葉、人がうれしい気持ちになる言葉をつかおう

②自分がされて嫌なことは、絶対に人にしない

◆運動会のありかた見直し～忘れられない運動会に～

本校では、昨年度から「健康教育～心と体の元気づくり～」に取り組み、その一つとして子ども自身が諸行事への取組を通して、「楽しめた」「自分なりに活躍できた」と振り返ることができるよう、行事のありかたを検討しています。

運動会という行事においても同様の視点から、ありかたの見直しに取り組んでいます。これまでどおりの午前中だけの開催となれば、どうしても窮屈なプログラム編成にせざるを得ず、5・6年生にとって貴重な経験となる係活動を充実させることが難しくなります。また、進行を急かすことや、空腹状態が続くことが事故や怪我等の発生につながりかねないことを懸念いたしました。

そこで、先般、運動会のご案内をいたしました。早目に昼食休憩をとることといたしました。忙しい中、お弁当を準備してくださること、参観に来てくださること、そして、一緒にお弁当を囲むこと、これらは、きっと子どもにとって忘れることのない一生の思い出になると思います。そして、家族への感謝の気持ちを抱くことだと思います。体育館、校舎を開放しますので、ご家族での団らんに使っていただけましたら幸いです。

ご多用な中、お弁当の準備はとても大変なことと重々承知しております。どうか意図をお汲み取りいただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆秋の校外学習・見学旅行シーズン到来～何を感じたか振り返ってみよう～

9月19日(金)1年生が阿蘇ミルク牧場へ校外学習に出掛けました。私も同行し、友達と力を合わせてアイスクリーム作りを楽しむ姿を微笑ましく感じました。「順番だよ」「次、〇〇くんだよ。」「〇〇ちゃん上手だね。」心がほんわか温かくなる言葉が耳に心地よく入ってきます。そして、待望のアイスクリームが完成。みんな、口いっぱいにはおぼっていました。その後、動物ふれあいやヤギレースを観覧するものの、10時過ぎには、あちらこちらから「お腹すいたあー」という声。そして、待望のお弁当タイム。みんな、あっという間に食べ終わり、上手に片づけをして、次々に私に腕相撲を挑んできました。芝生の上では、定番の鬼ごっこをしたりして楽しいひと時を過ごしました。最後は乳しぼり体験。悪戦苦闘をしながらも、牛の温かい体温を感じるとともに、お乳が出ることの神秘、お乳で子牛が育つことなど、一人一人捉えた思いが違えども、「いのち」にふれ、「いのち」のつながりを感じ取ったことと思います。

続いて、9月25日(木)2年生が三角町の宮田農園に「食育」をテーマに校外学習に出掛けました。クッキー、ピザ、かまどでの炊飯体験を通して、無農薬、手作り、地球にやさしいことをたくさんお話していただきました。かまどに立ち込める煙の臭いを味わい、目に染みることを実感することもできました。自分たちが作ったクッキーとピザが次々にかまどから出されると歓声が沸き起こりました。「ピーマンは苦手だけど、これはうまい!」「熱いクッキーは初めて食べる」そこまでだけでも十分な量がありましたが、さらに野菜スープ、おにぎりを次々におかわりして、お腹いっぱい堪能した様子でした。

3年生のミカン狩りと選果場、4年生の通潤橋、5年生の水俣学習、まだまだ続きます!

